

# 平成24年度 事業報告書

社団法人 平成24年4月1日から 平成24年6月3日まで

公益社団法人 平成24年6月4日から 平成25年3月31日まで

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

## [I] 法人の概要

当協会は、平成24年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。  
この事業報告は、公益社団法人として第1期の事業報告となる。

なお、平成24年4月1日から6月3日までは移行社団法人として活動しているが、事業報告については継続して活動しているため、移行社団法人と公益社団法人の事業を総括して報告する。

### 1. 設立年月日

公益社団法人	平成24年6月4日
社団法人	平成3年4月26日
協会設立	平成2年7月

### 2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 会員に関する事項

- (1) 会員数  
正会員数 36  
賛助会員数 9
- (2) 指導員・競技者登録・コントローラ登録数  
ディレクタ1級指導員数 116名  
ディレクタ2級指導員数 202名  
インストラクタ指導員数 107名  
競技者登録数 1455名  
コントローラ登録数 46名

### 5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	玉澤徳一郎
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	富樫博之
福島県オリエンテーリング協会	市川公男
茨城県オリエンテーリング協会	狩野岳也
栃木県オリエンテーリング協会	関根英尊
群馬県オリエンテーリング協会	惲田正也
埼玉県オリエンテーリング協会	山口征矢
千葉県オリエンテーリング協会	倉田寛之
東京都オリエンテーリング協会	高橋 厚
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	目黒正文
石川県オリエンテーリング協会	米沢 寛
福井県オリエンテーリング協会	相馬幸右衛門
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	生田喬也
静岡県オリエンテーリング協会	伊東伊佐美
愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	伊藤誠厚
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	久保喜正
大阪府オリエンテーリング協会	岩井健二

兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	前田 武
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一
岡山県オリエンテーリング協会	千田博通
広島県オリエンテーリング協会	杉原昭三
山口県オリエンテーリング協会	長崎浩明
徳島県オリエンテーリング協会	日野俊作
香川県オリエンテーリング協会	植田昌史
愛媛県オリエンテーリング協会	河野忠康
福岡県オリエンテーリング協会	原田 隆
長崎県オリエンテーリング協会	高村靖郎

加盟していない都道府県  
青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県  
佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(平成24年度末現在)

会長	山西哲郎
副会長	久保喜正
業務執行理事	村越真
業務執行理事	船橋昭一
業務執行理事(北関東B)	藤井範久
業務執行理事(北信越B)	木村佳司
業務執行理事	尾上俊雄
理事(北海道・東北B)	信原靖
理事(首都圏B)	齋藤宏顕
理事(東海B)	小野盛光
理事(北信越B)	三上雅克
理事(近畿B)	平島俊次
理事(中国・四国・九州B)	伊藤好信
理事(中国・四国・九州B)	仲尾勝利
理事	菅原琢

(理事括弧内はブロック選出区域を表す)

監事	齋藤和助 (税理士)
監事	尾上秀雄

7. 事務局に関する事項(平成24年度末現在)

職員 4名

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 平成24年6月17日(日)  
会場 東京都品川区「立正大学大崎キャンパス」11号館1164. 1165教室  
議題 報告事項  
①理事会報告  
②その他  
審議事項  
①平成23年度事業報告及び決算の承認  
②新法人移行期間「平成24年4月1日から5月31日まで」の決算の承認

(2) 臨時書面社員総会

日時 平成24年10月29日(月)  
議題 平成24年度財務諸表決算期間の修正の件

(3) 第1回理事会

日時 平成24年6月17日(日)  
会場 東京都品川区「立正大学大崎キャンパス」11号館1164. 1165教室  
議題 報告事項  
学連との連絡協議  
IOFイベントアドバイザークリニックへの派遣について  
調査研究費による普及研修会

全日本スプリントの裁定結果と公表について  
その他  
審議事項  
事業報告及び決算報告の承認  
トレイルO規則の改訂  
トレイルO委員の追加  
スキーO特別委員会の設置について  
財政再建と活性化方策とその実現のための特別諮問会議の設置について  
2016年ワールドマスターズ選手権開催への応募  
討議事項  
新法人の運営体制、副会長・業務執行理事について  
寄附金の取り扱い

(4) 第2回理事会

日時 平成25年3月3日(日)

会場 東京都新宿区 「大久保地域センター」

議題 報告事項

業務執行理事連絡会を5回開催(うち2回はスカイプを利用)と報告  
S I A(公益社団法人職業スキー教師協会)との「スキーオリエンテーリングの  
集い」の共催について  
ナビゲーションゲームズ2013について  
日本学連との連絡会議  
財政再建と活性化特別会議について  
J O A旗の作成について  
新たな傷害保険について  
寄附金のガイドラインについて  
公園での事故防止について  
審議事項  
平成25年度事業計画(案)・収支予算書(案)の審議及び採決  
北海道協会長の堀井学衆議院議員の顧問就任の件  
規程類の改訂について

(5) 業務執行理事連絡会

第1回	平成24年8月11日(土)	千駄ヶ谷区民会館
第2回	平成24年12月18日(火)	スカイプ利用
第3回	平成25年1月12日(木)	JOA事務局
第4回	平成25年2月12日(火)	スカイプ利用
第5回	平成25年3月3日(日)	大久保地域センター

(6) オリエンテーリング活性化と財政再建のための特別諮問会議

第1回	平成24年9月23日(日)	千駄ヶ谷区民会館
第2回	平成25年2月2日(土)	JOA事務局

特別委員 酒井山梨県協会長、碓井神奈川県協会長  
牧ヶ野岐阜県協会事務局長、西村関西ブロック代表  
JOA 山西会長、村越業務執行理事、高村事務局長

## [Ⅱ] 平成24年度の事業

### 【公益目的事業1】

#### I 普及指導関連事業

関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

##### 1.2 指導者養成、資格認定・登録

・ディレクタ・インストラクタの資格審査、認定・登録を行った。

[D1-116名、D2-202名、In-107名(新規24名)、計425名]

##### 1.3 常設コース認定

・新規のパーマネントコースの登録はなかった。

・新規のネットプリントへの掲載は行われなかった。

##### 1.4 距離認定表彰

・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。

[申請数171件、最大走歩距離認定者は9000kmを超えた]

##### 1.5 普及のための調査研究

・オリエンテーリング指導教本として、初心者導入編、初級者～中級者編[CD]を作成した。

・鳥取県鳥取大学にて普及方法研修会(参加23名)を開催をした。

・競技者のレベルアップのための研修会を5月20日上尾大会(参加5名)と、1月20日ジュニアチャンピオン大会(参加40名)で実施した。

##### 1.6 外部団体等の加盟、派遣

・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。

・7月26日、IOF総会・委員会に代表を派遣した。

・公益財団法人日本体育協会に引き続き加盟をした。

・公益財団法人日本アンチドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。

・野外活動団体協議会に引き続き加盟をした。

##### 1.7 トレイルO委員会

・主催／公認大会を7大会開催、認定した。

・トレイルコントローラ養成講習会(参加14名)を3月2日～3日に開催した。

・日本トレイルO競技規則を改訂した。ガイドラインについては見直し中。

・トレイル・オリエンテーリング普及員の認定は行われなかった。

##### 1.8 普及教育委員会

・ディレクタ講習会の開催は行わなかった。

・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。

##### 1.9 広報出版事業

・世界選手権出場選手に関する情報を、会員にWEB等で発信、行政・報道等に郵送にて行った。

##### 1.10 募金、賛助会員維持等

・「税額控除に係わる申請」を行い認定された[認可日:府益担第9009号/平成24年11月22日]

[有効期間:平成24年11月22日～平成29年11月21日]

・賛助会員募集に替わり、新たな寄附金募集を開始した。

##### 1.11 総務委員会

・JOAニュースを、6月と12月の2回発行した。

・O-Forum2013(参加21名)を3月23日に福井県あわら市で実施した。

### 【公益目的事業2】

#### II 競技関連事業

##### 2.1 主催大会及び公認大会

次の全日本大会を主催した。

5月4日	第38回全日本大会
11月11日	第5回全日本スプリントO大会
11月23日	第8回全日本トレイルO大会
11月24日	第1回全日本ミドルO大会

総計2122名の参加を得た。

広島県庄原市ほか	586名
三重県津市	261名
長崎県大村市	67名
同上	287名

11月25日	第21回全日本リレーO大会	同上	336名
3月16.17日	第2回全日本スキーO大会	北海道留寿都村	44名
3月24日	第39回全日本大会	福井県あわら市	541名
次の大会を主催した。		総計1530名の参加を得た。	
10月28日	赤城山トレイルランニング・レース	群馬県協会共催	408名
ナビゲーション・ゲームズシリーズ2012(10大会)を主催した。			1122名

次の大会の申請を受け公認した。		総計1950名の参加を得た。	
5月3日	国民休暇村帝釈峡大会	カテゴリーS	広島県協会 213名
5月20日	上尾OL大会inくまがや	カテゴリーS	上尾OLC 120名
5月27日	パークOツアー関西in和歌山	カテゴリーS	和歌山県協会 62名
9月9日	パークOツアー関西in京都	カテゴリーS	京都府協会 88名
2月11日	ES関東Cバレンタイン大会	カテゴリーS	ES関東C 202名
2月16.17日	スプリントOin神戸2日間大会	カテゴリーS	兵庫県協会 198名
3月30日	パークOツアー関西in滋賀	カテゴリーS	滋賀県協会 74名
9月30日	朱雀OLC20周年記念大会	カテゴリーB	朱雀OLC 178名
10月14日	第54回中日・東海大会	カテゴリーB	愛知県協会 255名
10月21日	京大京女大会	カテゴリーB	京大京女OLC 270名
1月27日	京都OLC40周年記念大会	カテゴリーB	京都府協会 中止
12月2日	東日本大会	カテゴリーA	神奈川県 中止
9月1日	東北大前日イベント	カテゴリーT	トレイルO協会 75名
9月22日	岩手県Oフェスタ	カテゴリーT	トレイルO協会 55名
10月7日	第30回トレイルOin戸川公園	カテゴリーT	サン・スーシ 36名
2月2日	トレイルOにほんシリーズ	カテゴリーT	静岡県協会 35名
2月24日	トレイルO四国in愛媛	カテゴリーT	愛媛県協会 46名
3月2日	東京トレイルOin小金井公園	カテゴリーT	東京都協会 43名

## 2.2 競技者登録

・24年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。

[男性1160名、女性295名、計1455名(内、学生600名、U18/69名、U15/104名)]

## 2.3 競技委員会

・全日本大会、公認大会等の規程を改訂した。

・年齢別ランキングを実施し、平成24年度の表彰をした。

・Eクラス選手の公示、推薦選手の審査を行った。

・コントローラ研修会を、8月29日(参加32名)と1月26日(参加20名)の2回実施した。

## 2.4 地図委員会

・8月29日のコントローラ研修会と一緒に地図に関する研修を実施した。

## 2.5 AD委員会

・toto補助による、全日本スプリントO大会、日本学生O選手権大会、全日本大会の3会場でドーピング検査を実施した。

・ドーピング検査結果をAD委員会WEBに掲載した。

・JWOC強化合宿においてJADA派遣講師によるアンチドーピング講習会を実施した。

・12月2日実施予定だった教育ブース(JADAアウトリーチ活動)は、開催場所変更に伴い中止した。

## 2.6 マスターズ世界選手権大会の招致

・2016年度の大会招致に応募したが採択されなかった。

## 【公益目的事業3】

### Ⅲ 競技力向上事業

#### 3.1 選手・役員の派遣

6月6-9日 [WTOC]トレイルO世界選手権(イギリス)へ選手・役員派遣を行った。(8名)

7月1-7日 [WMOC]マスターズ世界選手権(ドイツ)の選手参加につき協力した。(37名)

7月7-14日 [JWOC]ジュニア世界選手権(スロバキア)へ選手・役員派遣を行った。(14名)

7月14-21日 [WOC]世界選手権(スイス)へ選手・役員派遣を行った。(10名)

8月20-25日 MTB-O世界選手権(ハンガリー)へ選手参加につき協力した。(9名)

9月 ワールドカップへの選手参加につき協力した。(1名)

10月15-18日 アジア選手権へ選手・役員派遣を行った。(9名)

2月11-18日 ジュニアスキー世界選手権(ラトビア)及びマスターズ(マドラ)へ選手参加につき協力した。(3名)  
 3月4-11日 スキーO世界選手権(カザフスタン)へ選手・役員派遣を行った。(6名)

### 3.2 強化委員会

- ・2013年の強化指定選手の指定を12月に実施し、総計21名を指定した。
- ・トレーニング合宿を開催し、強化活動を行った。延べ13回実施した。
- ・WOC.JWOC等の大会終了に伴い、報告会を10月13日に愛知県野外活動センターで行った。  
 [報告会は、フット・スキー・トレイル・MTBの各委員会が合同で行った。]
- ・ワールドカップ、欧州選手権等の世界選手権以外の代表選考と選手遠征のサポートを行った。

### 3.3 スキーO委員会

- ・国際大会に派遣する選手の強化合宿を行った。延べ6日実施した。
- ・委員会を3回開催した。

### 3.4 MTB-O委員会

- ・国際大会等に派遣する選手強化及び支援が実施できなかった。
- ・世界選手権大会に向けての選考会、強化合宿を実施した。
- ・MTBOの認知度を上げることを含めトレーニングイベントを実施した。

### 3.5 日本スポーツ振興基金助成金報告

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・平成24年度日本スポーツ振興基金の助成金は以下のように決定し活動を行った。

スポーツ団体選手強化活動	交付決定額	計
①スキーO世界選手権へのチーム派遣	1,655,000	
②フットO世界選手権へのチーム派遣	2,100,000	
③MTB-O世界選手権チーム派遣及び事前国外強化合宿	2,245,000	6,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
全日本スキーオリエンテーリング選手権大会	2,350,000	2,350,000
スポーツ団体スポーツ活動助成	交付決定額	計
ドーピング検査推進事業	2,027,000	2,027,000
	合計	10,377,000

### 3.6 JOC加盟特別委員会

- ・JOC(日本オリンピック委員会)加盟に向けての活動を行った。

## 【その他】

### I 法人部門

公益法人化に伴い、事務の簡素化を行い、事務部門の規程類についても順次見直しをおこなった。

### II 寄附金募集事業活動

公益法人移行に伴い申請した、税額控除に関わる証明が認可された。寄附金募集制度を整備し、本年度寄附金総額は5,652,942円となり、一部は24年度に配分した。平成25年度前受け寄附金については25年度会計に繰入れ措置を行った。

以上